

令和6年6月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和6年6月分について、輸出額は「自動車」「半導体等製造装置」などが増加したことから、対前年同月比6.5%の増加となった。輸入額は「自動車」などが増加したものの、「金属鉱及びくず」などが減少したことから、同2.8%の減少となった。

その結果、差引額は8,118億円（同14.2%の増加）となった。

**名古屋港における差引額は、平成23年6月以降157カ月（13年1カ月）連続 全国港別（空港含む）第1位。
名古屋港における輸出額、差引額ともに6月として過去最高。**

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

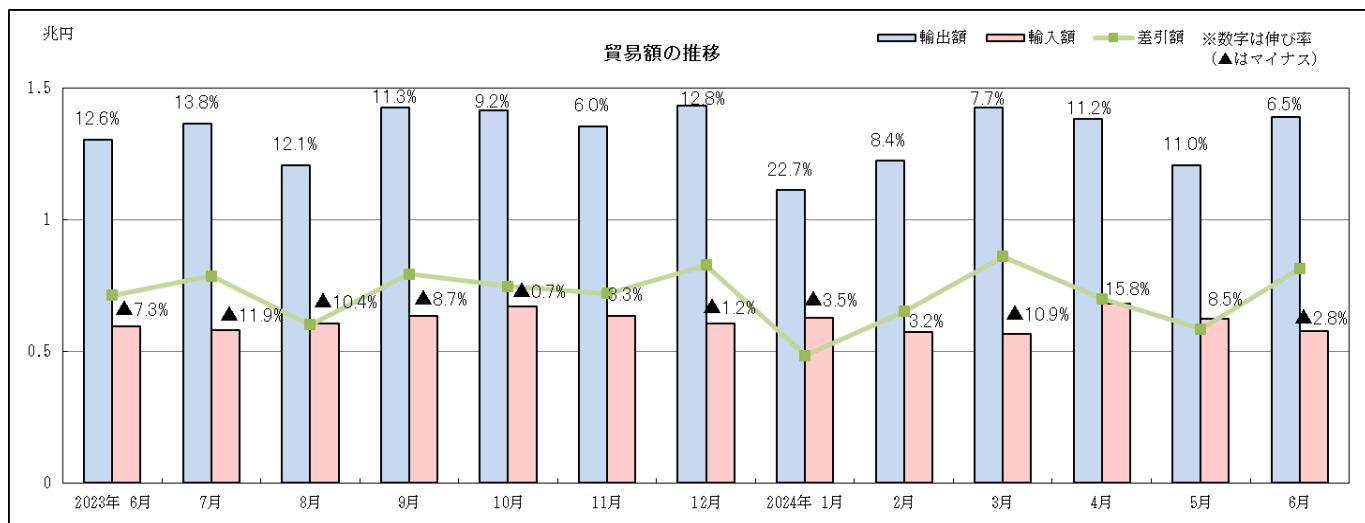
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆3,880億円	+6.5%	5,761億円	▲2.8%	8,118億円	+14.2%
	32カ月連続の増加		3カ月ぶりの減少		14カ月連続の増加	
	順位 過去5位	6月として1位	順位 過去22位	6月として3位	順位 過去3位	6月として1位
管内（名港シェア）	2兆1,569億円 (64.3%)		1兆0,899億円 (52.9%)		1兆0,671億円 (—)	
全国（名港シェア）	9兆2,086億円 (15.1%)		8兆9,846億円 (6.4%)		2,240億円 (—)	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出増加(1)	自動車	4,325億円	+7.2%	+2.2	4カ月連続の増加
輸出増加(2)	半導体等製造装置	302億円	+75.3%	+1.0	3カ月連続の増加
輸入増加(1)	自動車	89億円	+320.3%	+1.1	10カ月連続の増加
輸入減少(1)	金属鉱及びくず	116億円	▲43.8%	▲1.5	3カ月ぶりの減少



※名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諫訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。